

令和3年度釧路地域農業づくり懇談会質疑・意見交換概要

- 1 日 時 令和4年2月24日(木) PM13:00～
- 2 場 所 オンライン開催(ZOOM)
釧路総合振興局3階会議室(消費者協会、日本農業新聞)
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり

◎ 開会挨拶 釧路総合振興局産業振興部長 原 俊彦
別添 挨拶概要のとおり

◎ 課題別普及活動計画の説明 釧路農業改良普及センター所長 宮崎 隆章
別添 課題別普及活動計画に基づき説明

◎ 懇談会(発表内容は別添資料参照)

(1) 農業の担い手育成支援

発表者:普及指導員 後藤 穂高

〈質疑〉

○日本農業新聞根釧地区 中川通信員

質問: 成果が数字で表されているが、この成果はJAの広報等利用して公開されているのか?

回答: 昨年 of 普及センターだよりに掲載し、管内農業者に配布している。

(2) 飼料用トウモロコシの安定生産の推進

発表者:普及指導員 喜多村 美花

〈質疑〉

○日本農業新聞根釧地区 中川通信員

質問: 農業者がソルガムを持っている写真は何処の写真か?

回答: ソルガムを試験的に栽培している圃場での写真

質問: デントコーンに負けなければあれだけ大きく成長するのか? 結論ではシカ食害は防止されなかったとなっていたが、次年度以降も試験は継続するのか?

回答: 圃場の中の方に入れば3m以上に成長する。残念ながら効果は確認できなかったもので、次年度以降は電気柵での防除を試みる。

質問: 止めてしまうのはもったいないと思う。普及センター以外の機関でも試験等提案できないか検討してほしい。

回答: シカの食害だけでなく上川の方ではクマ等の被害対策に試験をしている地域もあるので、そういった成果の情報収集は続けていきたい。

○ホクレン釧路支所 天内営農支援課長

質問: シカの電気柵の試験では自費で設置した物か、補助事業を活用したのか? 除草剤の試験では、除草剤の散布時期と商品名を教えてください。

回答: シカ柵は農家が自費で設置している。

除草剤についてはアルファード、ゲザプリムを4葉期(6月中旬)に散布している。

○農務課 七社課長

質問: イヌキクイモは元々キクイモを栽培していた圃場にデントコーンを作付けしたのか、他の圃場から侵入したものか?

回答: 野草地から侵入し繁茂したもの。

○日本農業新聞根釧地区 中川通信員

質問：イヌキクイモと食用のキクイモは同じ物なのか？食用のキクイモが管理できず野生化してイヌキクイモに変化したものなのか？

回答：諸説あるため断言はできないが、別の種目と考えている。

(3) 農畜産物高付加価値化活動の取組支援と情報発信

発表者：主査(高付加価値化)木村 聖子

〈質疑〉

○釧路消費者協会 荒川理事

意見：消費者側の視点としてHACCPを取得していると安心して購入することができる。HACCPを取得するのはとても大変だと聞いている。こうした取組を丁寧に続けていただくことにより、生産者と消費者の信頼関係が広がると思う。

ホームページは見えていなかったの、今後拝見させていただく。管内には美味しい牛乳やチーズが沢山あるのが、知る機会が限られているのもっと情報を発信してほしい。

今は新型コロナウイルスの関係で料理教室を開催出来ないが、管内にある美味しい牛乳やチーズを使って消費拡大に繋がる活動を行っていききたい。

◎ 意見交換

○日本農業新聞根釧地区 中川通信員

意見：担い手の活動支援やソルガムの試験など、今回は画像で紹介していただいたが、YouTube等を活用して動画(ドキュメンタリーのような作り)で紹介していただくと理解しやすい。予算も必要になるので簡単ではないと思うが、農業者と普及センターと行政と消費者の連携が見て解るような活動をしていただきたい。

○普及センター 宮崎所長

回答：現場の活動のPRということで貴重な御意見をいただき感謝。4月から現地に持参できるPC・スマートフォン等が順次整備されてくる予定なので、普及センターの活動を外に向けて発信するためにも活用方法等検討していきたい。

○振興局 原産業振興部長

質問：今回発表いただいた課題以外の質問になるが、スマート農業技術の推進とか、あと情報システム化の推進など、デジタル化に絡んでるようなものが、結構あると思うが、どんなことを行っているか教えてほしい。

○普及センター 宮崎所長

回答：昨年8月にスマート農業相談窓口を普及センター本所・各支所に併設した。現在の活動内容は、すでに地域で先行して導入している搾乳ロボット、哺育ロボット等の事例情報を蓄積している状況。

○釧路消費者協会 武田事務局長

意見：普及センターの行っている活動を一般の消費者が知る機会少なく、チーズパーティー等も知らなかった。ホームページは情報を探す人は見るが、現在はSNSやFacebook等、情報がタイムラインで流れてくるので、自分から情報を探しに行く人は少ないと思う。SNSは誰かが情報を得てそれが拡散されていくので情報を広めるにはとても効果的だと思う。SNS等活用し積極的に情報発信をしていくようお願いしたい。

○釧路消費者協会 荒川理事

意見：YouTube等を活用してとの話があったが、消費者が商品を手取るためには生産者や生産現場を知るとより興味が沸く。今はコロナ禍で消費者が生産地に行くことは難しいので、SNS等活用して生産者の情報を積極的に発信していただきたい。

キクイモは機能性食品として注目されていて料理教室等で使用していたが、野生化すると変化してしまうのは残念に思っていた。現在は農薬使って枯らせているとのことだが、今後の後ぐらい増えていくのか心配して聞いている。またキクイモを収穫して食用に出来ないのかも興味をもって聞いている。

○振興局 七社課長

質問：釧路でも栽培されたキクイモは販売されているが、イヌキクイモは食用にはならないのか？

○普及センター 宮崎所長

回答：食用のキクイモとイヌキクイモは全く別の物で食べられなくはないが美味しくなく、雑草として防除していくしかない。

○振興局 七社課長

意見：前段で話のあった生産現場の見学や農業者との意見交換については、今はコロナ禍で難しいが雪印の磯部内工場などは一般の方が気軽に見学できる施設となっているので是非見学に行っていたきたい。

○普及センター 宮崎所長

回答：SNSに関しては、普及センターが独自でアカウントを作って情報を自由に発信する環境にはなっていないが、個人的にSNSを使って情報を得ていくのは皆さんと同じなので、環境整備について道庁に働きかけていきたい。

○釧路消費者協会 武田事務局長

意見：消費者協会としてもSNS等はあまり進んでいないが行政の方より身軽に動くことができる。大学生からはInstagramのストーリーで入ってくれば見るとよ言った意見が聞かれるので、若い人たちが身近で楽しそうだなと思えるような情報があれば積極的に発信していきたいのでよろしく願います。

◎ 閉会挨拶

釧路農業改良普及センター所長 宮崎 隆章

本日は会場に来ていただいた方々、ズームで参加していただいた方々には貴重なお問をいただきまして本当にありがとうございます。後半の協議では顔が見える部分で話しやすかったのかなという部分は否めないんですけども、令和3年度の普及センターの活動について皆さんからの貴重な意見をいただきました。特にPRの部分で、情報を外にどう発信していくかという部分については、具体的にYouTubeだとかInstagramとかFacebookとかっていう、今のツールの話もありましたし、普及センターとしてどこまで取り組めるかは対応困難の部はありますが、いただいた提言を今後の活動の参考にさせていただきます。

令和3年度の、先ほど示した16課題と、あと広域推進以降の3区分については、実績を取りまとめ中です。その取りまとめ後に、令和4年の部分についても、地域計画ということで、自立して、また皆様と一緒に農業振興として活動していくこととなります。ズームで参加している関係機関、団体の方にも継続して、一緒に活動していただくこととなりますので、今後とも御協力をお願いいたします。コロナ禍のためズームとリアルということで併用して開催させていただきましたけれども、今後参加していただいた皆様をですね、御健勝で、今年1年間御活躍することを祈念して、簡単ではありますが、今日の開催に対してのお礼の挨拶にさせていただきますと思います。本日はありがとうございました。